

**特 長** (HFP-Aシリーズ)

- オートリターン機能 切削が終了すると加工材が作業者の手元に自動的に、高速で戻ってきます。スイッチの選択により加工材を一方通行にすることも出来ます。
- 過大切削防止装置 オートリターンで加工中、加工上厚及び巾が過剰(約6mm以上)な材料はセンサーが探知して、自動的に適切な切削量で切削しリターンします。加工材が戻った後、所定の設定値に自動位置決めし、操作画面に【再加工】と表示します。再投入後、加工が終了すると【切削終了】と点滅表示して、所定の厚さに仕上がったことを知らせます。
- ブレーキ装置 横かんな軸にはリターン時の安全のためにブレーキ装置を装備しておりますので、緊急時にはワンタッチの操作で素早くかんな軸を停止させることが出来ます。
- 自動位置決め装置 加工寸法を設定すれば、マイクロコンピューターがかんな軸の高さ及び巾を自動的に設定値まで移動させます。現在値及び切削目標値は操作画面に表示されます。また、加工寸法はmm⇔寸の切替が出来ますので、加工材に合わせた正確な切削が可能です。(HFP-A・HFP-O 共通)

**機械仕様**

(単位/mm)

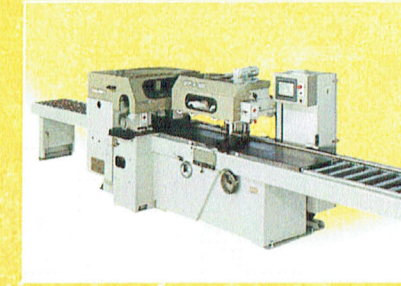
型 式	HFP-300	HFP-400	HFP-500	HFP-600
横かんな	最大切削巾	290	390	490
	最大切削厚	400		
	最小切削厚	8		
立かんな	最大切削巾	290	390	490
	最大切削厚	180 (※240) (※300)		
	最小切削巾	15		
	上下移動量	145		
定盤の長さ	7,230			
定盤の高さ	800			
送材速度	3~18m/min (無段変速)			
リターン速度 (-A-型)	20m/min			
電動機	下横かんな軸	3.7kw		
	上横かんな軸	3.7kw (※5.5kw)		
	右立かんな軸	2.2kw		
	左立かんな軸	3.7kw		
	送 材	1.8kw		
	ヘッド昇降	0.4kw		
集塵口径	横かんな軸	φ150 (6インチ)		
	立かんな軸	φ125 (5インチ)		
機械総寸法 (巾×長さ×高さ)	1,350×7,200×1,600	1,450×7,200×1,600	1,550×7,200×1,600	1,650×7,200×1,600
機械重量	2,000kg	2,500kg	3,000kg	3,500kg

※はオプション

上記仕様は予告なく変更する事がございます。

**AUTOMATIC  
FOUR-SIDE  
P L A N E R**

定盤固定式 自動四面かんな盤



HFP-A シリーズ  
HFP-O シリーズ

SH 株式会社 下平製作所

代理店

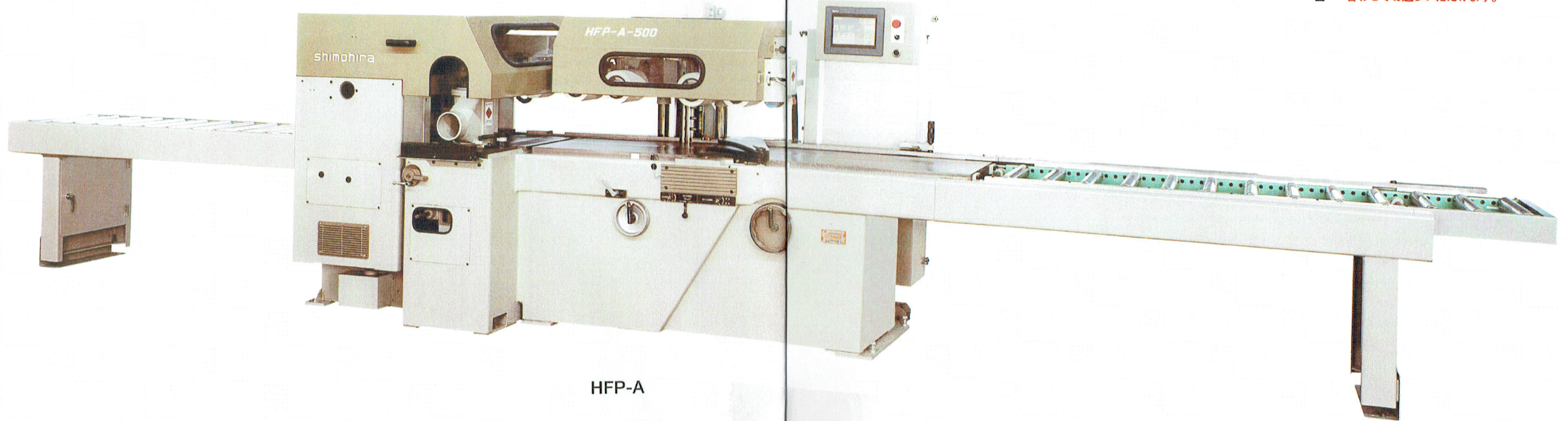
本 社 東京都台東区東上野1丁目2番13号  
 営業部長野工場 長野県上伊那郡飯島町飯島2169-21  
 TEL 0265 (86) 3010 〒399-37  
 FAX 0265 (86) 3009  
 中 部 出 張 所 愛知県一宮市大字大赤見字大山21-23  
 TEL 0586 (77) 5883 〒491  
 FAX 0586 (77) 5883



# 基本思想は直角二面かな盤+自動二面かな盤。ムラ取り・厚み・巾決めをワンパスでクリア。

**AUTOMATIC FOUR-SIDE PLANER HFP-A Series & HFP-O Series 300.400.500.600**

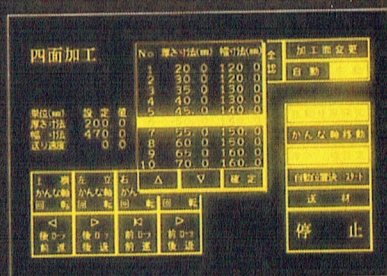
自動四面かな盤HFPシリーズの基本思想は直角二面かな盤+自動二面かな盤。それぞれの持つ機能はそのままに、省スペース化を実現しました。コンパクト設計ならではの操作性に加え、ムラ取り・厚み・巾決めをワンパスでクリア。特に大型材、長尺材の加工に威力を発揮します。もちろん単独での使用も可能。省ライン、高性能のマルチかな盤です。(HFP-A・HFP-O 共通仕様)



HFP-A

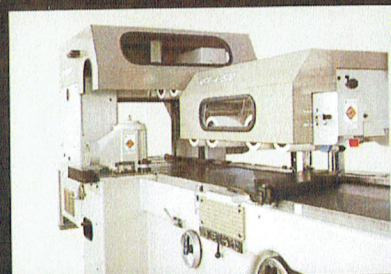
- 約60%の省ラインが実現(当社比)  
直角二面かな盤と自動かな盤をライン化すると、必要なライン長さは13m。HFPシリーズは全長8mですから約60%の省ライン化が実現します。
- オートリターン機能搭載のAシリーズ。  
一方送材のOシリーズ。加工材や用途に合わせてお選びいただけます。

## 二面かな盤の手軽さと操作性 機能充実の自動四面かな盤。



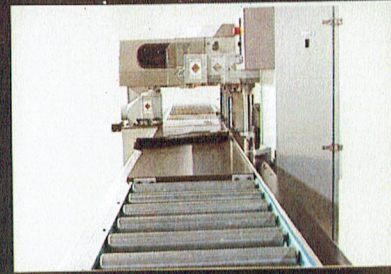
●大型ディスプレイタッチパネル

操作パネルは操作性向上のため大型液晶パネルを採用しました。従来多機能を重視するあまり複雑になりがちだった操作をシンプルにまとめ、ほとんどの操作をこの画面で行うことができます。テンキーやプリセットスイッチ等、20種類ものセットが可能になり、必要なときにいつでもウィンドウズで表示させることができます。初めての方でも対話式なので画面表示に従って入力するだけです。



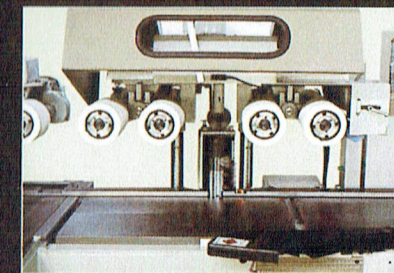
●直角二面かな盤と自動かな盤。どちらも単独で使用出来ます。

自動四面かな盤HFPシリーズは、従来のモルダーなどで加工出来なかった大型材や、ムラ取りの難しかった長尺材・内装材の加工も驚くほどのスピードと正確さでこなします。直角二面かな盤のムラ取りと、自動かな盤の厚み・巾決めをワンパスで行います。又、簡単な切替で、それぞれの作業を単独で操作することも出来ます。



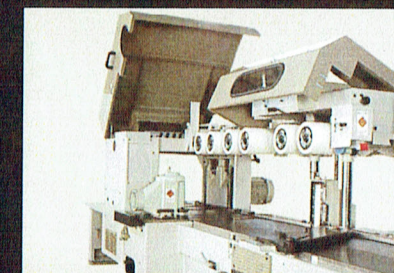
●最適な送材圧力を生む送材厚み自動装置。最高400mmまでローラーが可動。

加工材を定盤にのせると、送材ローラーが材料厚を自動的に計測、最適な高さまで移動します。材料厚が前後で違う場合でも自動的に追従します。又、ムラ取り加工や厚み・巾決め加工など単独で操作する場合など、最高400mmまでローラーを可動出来ますから、特に大型材の加工時などスペースを有効に利用出来ます。もちろん前後の移動も可能ですので、加工材に合わせた最適な送材圧力が得られます。



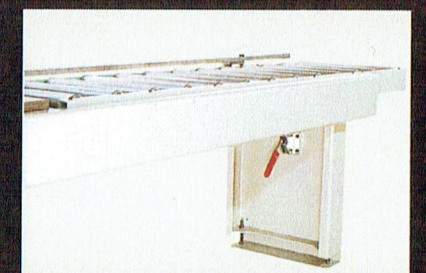
●スライド式立かな、横かな軸。いつでも高品質な切削が得られます。

立かな軸は上下に最大145mm、横かな軸は水平に最大200mm (HFP300.400は150mm) までの移動が可能ですから、かな刃の全長を有効に使用でき、いつでも高品質な切削が得られます。立軸は標準で6寸、オプションにて8寸、1尺の2タイプをご用意しております。



●デザイン性にも優れた大型安全カバー。メンテナンスも容易になりました。

デザイン性にも優れた大型カバーが送材ローラー及びモーター部分を完全にカバーすることによって、安全性を高めています。開閉も簡単ですからメンテナンスも容易に行えるようになりました。



●手前延長テーブル傾斜避退装置。反り材を加工する時に使用します。

反り材を反ったなりに加工したい時には、レバーの操作だけで手前延長テーブルを傾斜させることが出来ます。